

爽やかな着心地で動きも楽々 新製品の着を試してみました

この春、和装小物の「あづま姿」から発売された新しいラインの下着「さらっとLINE」を、二人の舞踊家にお試しいただき、着心地をうかがいました。

舞踊家の 花柳春さんと西川瑞扇さんの 稽古場にうかがって



花柳春さん(右)はぼかしの駒紵に紹づれの帯、西川瑞扇さんは豎紵の小紋に紹の染め帯姿

夏のきもの姿でいちばん気になるのは汗対策。特に下着は肌に密着しないものが望まれます。そこで快適な着心地を追求して生まれた新商品を、日本舞踊家「花柳流」「朱鷺之會」会長の花柳春さんと主宰の西川瑞扇さんに着用していただき、感想をうかがいました。

●何度も試作を重ねて

新商品の企画・開発にあたっては、多くのきもの愛好家の方々にモニターとして実際に着用をお願いし、それらの方々の意見や感想を基に、何度も試作を重ねたそうです。最も大事な点は素材の選定だったとか。吸汗性や速乾性に優れた素材で、しかもさらりとした肌触りの良さが求められるため、さまざまな繊維メーカーの生地を厳選し、最適な素材を使うことに成功しました。新商品は夏だけでなく、一年を通して着られる下着であり、また多くの方々の「女性が着てみたいような愛らしいデザインの和装下着を」という意見が反映されています。

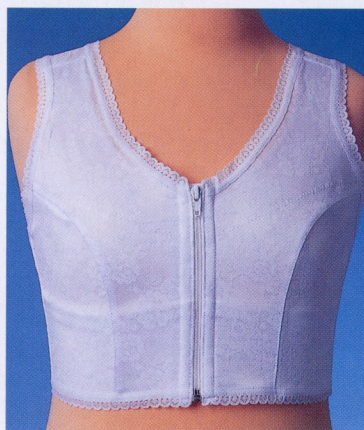
●素材感やデザインが素敵

早速、お稽古前の二人に踊りの動きについてうかがいました。「踊りの場合、顔や手など見えるところには汗をかきませんが、胸、帯周り、背中や裾のあたりは、下着が絞れるくらい汗をかきます。ですから下着は動きやすいデザインで、汗を速く吸収し、速く乾くものがあればとても重宝します」と新商品に期待をおもちです。「和装ブラジャー」「肌襦袢」「裾よけ」をお召しになった瑞扇さんはお稽古後、

新製品「さらっとLINE」

さらっとLINE 肌襦袢

従来の和装の肌襦袢とは異なった、手早く簡単に着られるシャツ型のデザインです。本体の生地は、吸汗・速乾性のあるニュータイプポリエステル「旭化成せんいアクアジョブ®」と消臭機能のある特殊綿糸「東洋紡デオドラン®-C」を編み込んだもので、高い伸縮性をもち、肌触りがよく、常にさらりとした感覚を保ってくれます。伸びのある生地なので、なで肩の人、肩が張っている人のどちらにも対応でき、衿ぐりが大きく取られているので、セットした髪型を崩すことなく頭からでも足からでも着脱が可能です。サイズはMとL。各4,515円(あづま姿)



裏側
クラレ・ウォーターマジック®

さらっとLINE和装ブラジャー

ブラジャーの裏面は、夏に限らず汗や熱気がこもりがちです。新製品はこれを解消するため、直接肌に接する裏生地に、吸汗性・速乾性・ドライ感に優れた特殊構造のニット素材「クラレ・ウォーターマジック®」を使用しています。スポーツウエアに使われているこの素材は、従来品に比べ汗の乾きが速く、温度の上昇を抑えて快適さを保ちます。夏だけでなく冬場の室内と外気との温度差の調節にも役立ちそう。着やすい前あきタイプで、ファスナーが直接肌に触れないよう、裏に当て布を付けています。サイズはM~LL。各4,830円(あづま姿)



旭化成せんいアクアジョブ®+
東洋紡デオドラン®-C

〔右〕花柳春(はなやなぎはる) 日本舞踊家。日本の古典舞踊のほか、創作舞踊、舞台、テレビ出演など幅広い活動で知られる。平成四年に舞踊集団「朱鷺之會」を結成し、現在は会長として若手舞踊家の育成に力を注いでいる。数年来、日本舞踊を通じた文化交流としてフランス、イタリア、ドイツ、アメリカで公演。昨夏と今春、NHK「芸能花舞台」松園描く」にも出演

〔左〕西川瑞扇(にしがわみいせ) 日本舞踊家。女優・朱鷺香美。一九八〇年より商業舞台の振付師となる。舞踊集団「朱鷺之會」結成と共に会員となり、現在主宰。九十六年より、テレビドラマの振付を手掛ける。アメリカ、フランス、イタリア、ドイツなどで日本舞踊を公演。新橋演舞場、明治座、京都南座には女優として出演。帝国劇場、芸術座などの公演では振付を担当

動きの激しい踊りでも自然に体になじみ、 お稽古後は肌になじみつきません



着用した肌着は「3点とも肌触りがよく、とても着やすいです」と瑞扇さん

「和装ブラジャーは締めつけ感がなく、肩紐も柔らかいので、舞台でも大丈夫です。役者のお友達にも薦められますね。また肌襦袢は体にフィットする素材なので踊りにくいとは思っていただけですが、自然に体の動きになじみました。汗の引きが速いことや、衿ぐりが大きく、足から着られるのもうれしいところ」とお気に入り。裾よけについては「見た感じがすごく可愛いですね。素材感もよく、普段の外出にもぜひ着用してみたい」と、着心地の快適さを語っています。

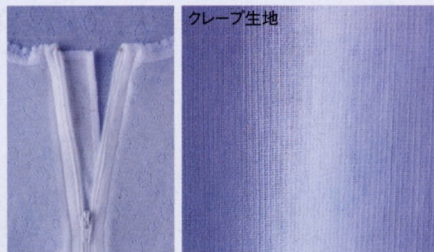
●涼やかな着心地とおしゃれなデザイン

一方、花柳春さんは「着物スリッパ」を着用してお稽古していただきました。「稽古が終わると汗が帯までしみ込んでしまっほど、舞踊は動きが激しいんですよ。このスリッパはそうしてお稽古でも動きやすいですね。お化粧して髪を結んだ後でも、上からでも下からでも着られるし、ファスナーなので時間がかからない点も気に入っています。上身頃は体になじみ、スカートはさらっとして肌に付かず、涼しさを感じます。おしゃれでさりげないデザインなので、肌襦袢と裾よけの組み合わせに抵抗がある方にお薦めしたいですね。夏のきものの着つけに、このワンピース形なら安心です」と着心地のよさを満喫されました。

お二人が後進の指導にあたる舞踊集団「朱鷺之會」は、古典舞踊、創作舞踊など幅広く活躍中。今年十月に国立劇場で公演が予定されていますが、夏のお稽古には、この新しい下着が活躍しそうです。

さらっとLINE 着物スリッパ

右ページの和装ブラジャーと、このスリッパを組み合わせることで汗対策も安心です。上部の身頃は肌襦袢と同様の、吸汗・速乾機能をもつポリエステル「旭化成せんいアクアジョブ®」と消臭機能のある綿糸「東洋紡デオドラン®-C」を編み込んだ生地を使用。生地は伸縮性が高く、衿ぐりも大きくとられているため髪をセットした状態での着脱が可能です。下部はシボの細かいクレープ生地で、爽やかな肌触りに。また胸のファスナーが直接肌に当たらないよう、当て布を付けているため、汗からくる痒みの対策がなされています。サイズはMとL。各5,880円(あづま姿)



さらっとLINE 裾よけ

裾よけやキュロットタイプの下着にもっと可愛らしいデザインが欲しい、というきもの愛好家の声を参考に開発されたもの。裾先をフリル状にしたこれまでにないデザインです。生地はさらりとした質感の綿100%の波シボクレープ。肌に密着しにくい太めのシボを選んでいるため、肌触りがよく、汗のべたつき感を解消します。足回りは腿に生地がまとわりつかないように、やや太めにデザイン。股上は腰紐にかからないよう、少し浅めになっています。右ページの肌襦袢と合わせて、ゆかたのときにも着用したい一枚。サイズはMとL。各3,675円(あづま姿)

